

PAT-NO: JP409271597A
DOCUMENT-
IDENTIFIER: JP 09271597 A
TITLE: NET BAG DEVICE FOR WASHING SPORT SHOES IN WASHING
MACHINE
PUBN-DATE: October 21, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY
YOSHIOKA, MAYUMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
YOSHIOKA MAYUMI N/A

APPL-NO: JP08119482

APPL-DATE: April 5, 1996

INT-CL (IPC): D06F035/00 , A47L023/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To dispensing with washing of shoes and the like by hand to thereby prevent generation of chapped skin in head by interposing a cushioning member made of cloth, cotton and the like between a front surface net and an inner surface net, and sewing together the nets, and forming a takeout opening with a fastener sewn as opening and closing means.

SOLUTION: A core member 1 is fitted to one side of a front surface net and to one surface of the core member 1 one surface of an inner surface net is fitted, and then they are sewn in a bag form. A takeout opening 4 having a fastener 3 sewn as opening and closing means is formed at this bag 2. Upon use, sport shoes or the like are put in the bag 2, then the bag 2 is thrown into a washing machine, and a mode selection is just carried out as usual. The core member 1 between the front and rear nets functions as a cushion member so that the washing is carried out without damaging both shoes and a washing tub. Furthermore, no mud sticking to the shoes does not come out of the bag 2 by the aid of te core member 1, thereby preventing damage in the washing machine.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

Error retrieving page from server

【特許請求の範囲】

【請求項1】表側になる網(5)と内側になる網(6)の間に、布、綿等のクッション部材(1)をはさみ、これを袋状に縫い、開閉手段としてファスナーが縫い付けてある、取り出し口(4)を設けた、運動靴を洗濯機で洗濯できる網袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ブラシなどを使って手で洗うしか方法がなかった運動靴やスリッパ、シューズ等を、洗濯機や靴等を痛めることなく、洗濯機で簡単に洗濯できる、運動靴等を洗濯機で洗濯できる網袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より運動靴、シューズ、スリッパ等は、ブラシなどを使って手で洗っていた。したがって手で洗うと手間がかかり、手荒れにもなった。あるいは、スリッパを洗濯機に入れて洗濯した場合、型くずれしスリッパを痛めた。又運動靴等洗濯機で洗った場合、運動靴に付着していた泥によって洗濯機を故障させる原因にもなったので、これらを洗濯機で洗濯するということは不可能であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

イ、運動靴、シューズ、スリッパ等は、ブラシなどを使って手で洗っていたが、たいへん手間がかかり、手荒れにもなった。

ロ、スリッパを洗濯機で洗濯した場合、型くずれしスリッパを痛めた。

ハ、運動靴等を洗濯機で洗った場合、運動靴に付着していた泥によって洗濯機を故障させる原因にもなった。

ニ、手で洗った場合、なかなかきれいにならなかった。本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】表側になる網(5)と内側になる網(6)の間に、ドミット芯(1)をはさみ、これを袋状に縫い、開閉手段としてファスナーが縫い付けてある、取り出し口(4)を設ける。本発明は、以上の構成よりなる運動靴等を洗濯機で洗濯できる網袋である。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明を使用するときは、本発明品の中へ運動靴等を入れ、洗濯機に投入し通常通りの洗濯をおこなえば良い。そうすれば、網(5、6)の間にはさんだ、ドミット芯(1)が靴と洗濯槽の間でクッションの役割を果たしているので、靴も洗濯槽も痛めることなく洗濯できるというわけである。更に、靴に付着した泥はドミット芯(1)があるので、全く網袋(2)の中から洗濯槽内には出ず、洗濯機を痛めるということはない。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例を述べる。

(イ) 本発明を作るときは、図2に示すように、表側になる網(5)の片面にドミット芯(1)を合わせ、更にそのドミット芯(1)の片面に、内側になる網(6)の片面を合わせた上で袋状に縫う。

(ロ) そして、この網袋(2)に開閉手段としてファスナー(3)が縫い付けてある、取り出し口(4)を設け、図1のように形成する。

本発明は、以上の構成よりなっている。本発明は、本発明品の中へ運動靴等を入れ、洗濯機に投入し通常通りの洗濯をおこなえば良い。そうすれば、網(5、6)の間にはさんだ、ドミット芯(1)が靴と洗濯槽の間でクッションの役割を果たしているので、靴も洗濯槽も痛めることなく洗濯できるというわけである。更に、靴に付着した泥はドミット芯(1)があるので、全く網袋

(2)の中から洗濯槽内には出ず、洗濯機を痛めるということはない。この結果洗濯機で簡単に運動靴等が洗濯できる。なお、網の目の大きさや形、又は開閉口の位置等は問わず、開閉部材においても、ファスナー・面ファスナー、ボタン等、開閉に使用できる物であれば、それに限定されない。更に、網と網の間にはさむ布、綿等のクッション部材に関しても、クッションの役割が果たせ、水分洗剤等を通しやすいものであれば、どんな物を使用しても良いとする。ここに述べた実施例の他に、内側になる網(6)を使用せず、表側になる網(5)と布、綿等のクッション部材(1)との2層構造でも、同効果が得られれば何らさしつかえない。

【0007】

【発明の効果】本発明を使用することによって、ブラシなどを使って手で洗わなければならなかった運動靴、シューズ、スリッパ等を、洗濯機で衣類を洗濯するのと同じように、簡単に洗濯することができる。これまでの主婦の靴洗いの手間と苦痛を解決する。しかも、運動靴やシューズ、スリッパ等や、洗濯機を痛めるということもない。

【図面の簡単な説明】

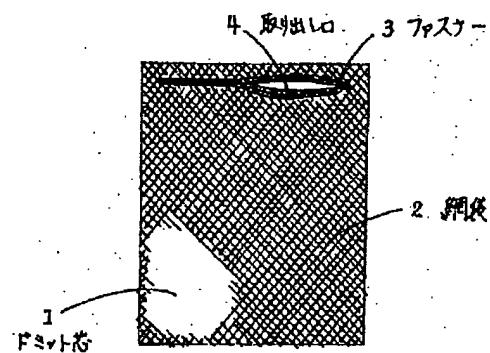
【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の分解斜視図

【符号の説明】

- 1 ドミット芯
- 2 網袋
- 3 ファスナー
- 4 取り出し口
- 5 表側になる網
- 6 内側になる網

【図1】



【図2】

